平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	民間保育所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	1	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	大伯　昌司			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	高まる保育需要に対応するため、引き続き民間保育所の誘致を進める必要がある。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	高まる保育需要に対応するため、新たに定員60名の民間保育所を10月に開園する。
②①に基づく取組み結果	平成30年3月に民間保育所（定員90名）を開設した。平成30年度開設予定の民間保育所（定員60名）の誘致を行った。運営費の補助を継続して行った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	民間保育所運営事業者	意図（対象をどうするのか）	安定運営により子育て支援を行う。
②事務事業の概要	待機児童解消のため、民間保育所を誘致し、保育所の整備に必要な助成を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	保育所等の利用を希望する保護者が増加し、待機児童の発生が懸念される。また、新たな民間保育所等の誘致のニーズは高まっている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果：平成30年度開設予定の事業者を決定した。平成30年3月に民間保育所（定員90名）を開設し受入定員の増加を図ることにより、平成30年4月に待機児童ゼロを達成できた。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	待機児童数	0	0	0	人	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）	14	29,695	金額（千円）	内容	87,065
国支出金（千円）		22,963	41	選考委員会委員報償	37,870
県支出金（千円）		1,162	4,244	管内民間保育所運営委託	12,453
市債その他（千円）		871	24,000	民間保育所整備費補助金	9,036
一般財源（千円）	14	4,699	1,410	民間保育所運営費補助金	27,706

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	保育需要の増大に対応するため、民間保育所の整備を進め、待機児童の解消を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	平成30年4月待機児童ゼロを達成することができたが、継続して待機児童解消を図るため民間保育所の整備が必要である。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	民間保育所の整備	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	民間保育所運営事業者の誘致	36,870	36,911	当初	230,742	29,695	H28からの繰越　0
③達成状況	完了			H28⇒29繰越			現年分　29,695
④未完了・非着手の理由				補正	−193,872		
				流用・充当	41		
		平成30年度への繰越額			0		

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	地域型保育整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	1	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	大伯　昌司			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	平成29年度以降も、地域型保育事業を整備する。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	平成30年4月開園を目標に地域型保育事業を整備する。
②①に基づく取組み結果	平成30年4月に開設予定の定員19名の施設2箇所を整備した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域型保育事業者	意図（対象をどうするのか）	安定運営により子育て支援を行う。
②事務事業の概要	待機児童解消を図るため、地域型保育事業2施設を公募により整備し、改修費（内装工事）等の助成を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	保育の需要量を見極めながら、必要とされる地域に地域型保育事業を整備する。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	平成30年4月に開設予定の定員19名の施設2箇所を整備することにより、待機児童解消につなげることができた。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	待機児童数	0	0	0	人	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）		246,173	48,014	金額（千円）	内容	24,007
	国支出金（千円）	125,003	42,666	14	選考委員会委員報償	21,333
	県支出金（千円）	55,170		48,000	地域型保育事業整備費補助金	
	市債その他（千円）					
	一般財源（千円）	66,000	5,348			2,674

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	保育の需要量を見極めながら、必要とされる地域に地域型保育事業を整備する。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	待機児童解消のため、需要の高い3歳未満児を対象とする地域型保育事業を整備する必要がある。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	補助金（整備2箇所）	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	定員19名の地域型保育事業2箇所を整備した。	48,014	48,014	当初	48,014	48,014	H28からの繰越　0
③達成状況	完了			H28⇒29繰越			現年分　48,014
④未完了・非着手の理由				補正			
				流用・充当			
		平成30年度への繰越額			0		

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	市立保育園の管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	4	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	大伯　昌司			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	効率的な管理運営方法について、費用対効果も含め、引き続き検討を行う。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	効率的な管理運営方法について、費用対効果も含め、引き続き検討を行う。
②①に基づく取組み結果	保育サービスのあり方や費用対効果を含め、引き続き検討を行うこととした。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	公立保育園	意図（対象をどうするのか）	安全で安心な保育環境の維持及び拡大を図る。
②事務事業の概要	市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう管理運営を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	入園希望児童数は増加傾向にあるとともに、多様な保育ニーズへの対応が求められている。保育需要の増大に伴い保育士の安定的確保が求められる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	施設の修繕を行い、施設の環境を整えた。また、臨時職員や非常勤職員の配置を行い児童の受け入れに努めた。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	待機児童数	0	0	0	人	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）		319,550	343,168	金額（千円）	内容	380,124
	国支出金（千円）	9,002	9,174	172,540	賃金	10,054
	県支出金（千円）	9,002	9,174	80,695	委託料	10,054
	市債その他（千円）					185,611
	一般財源（千円）	141,947	324,820			174,405

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	保育需要の増大から、待機児童の解消を図る必要がある。また保育士を安定的に確保することにより、保育の質の向上を図る必要がある。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	2普通	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	保育を必要とする世帯が増加していることから、保育士の確保、保育の質の向上を図る必要がある。また施設を良好に維持管理することにより安全、安心な環境を整備する必要がある。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成28年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成28年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績				当初		H28からの繰越	
				H28⇒29繰越			
③達成状況				補正		現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成29年度への繰越額					

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	保育園改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	4	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	大伯　昌司			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	第4次実施計画に基づき事業を執行する。他園での工事を参考に工期の短縮、コストダウンを行う。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	第4次実施計画に基づき事業を執行する。他園での工事を参考に工期の短縮、コストダウンを行う。
②①に基づく取組み結果	予定した事業を遅滞なく完了した。工期の短縮に努め園への影響を最小限とした。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	公立保育園	意図（対象をどうするのか）	安全で安心な保育環境の維持及び拡大を図る。
②事務事業の概要	市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう施設の改修を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	施設の老朽化に伴い長寿命化を見据えた改修を実施する。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	粟野保育園トイレ及び給水管改修工事の実施。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	事業実施率（累計）			31	%	第4次実施計画
	ii						期間中総事業費102,440千円
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）		67,303	30,219	金額（千円）	内容	4,301
	国支出金（千円）			30,219	工事請負費	
	県支出金（千円）					
	市債その他（千円）	48,600	23,000			3,400
	一般財源（千円）	18,703	7,219			901

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	工事単価の高騰、施設老朽化に伴う実施計画外の緊急対策					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市立保育園の良好な保育環境を維持するため、絶えず検討する必要がある。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	粟野保育園トイレ工事 粟野保育園給水管工事	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	工事の実施	31,881	31,661	当初	31,881	30,219	H28からの繰越　0
③達成状況	完了			H28⇒29繰越			現年分　30,219
④未完了・非着手の理由				補正			
				流用・充当	▲ 220		
		平成30年度への繰越額			0		